

1. 背景

- ・ 静岡市には、発達障害に関する診断を可能と公表している医療機関のうち、こどもを対象とした医療機関では、心理検査の最大10ヵ月待機がある。

2. 令和 6 年度時点 医療機関ヒアリング

- ・ 発達が気になるこどもについての初診の待機期間よりも、心理検査の待機期間が長い。
 - ・ 小児科の診療の中で、発達が気になるこどもの診療には時間がかかる一方で報酬は一律であり、報酬が見合わない。
- 特に、心理検査や心理士による関わりは有効であると考えるが、それに見合う診療報酬が用意されていない。
- そのため、心理検査の枠が限られている。
- ・ 発達障害の診療においても、かかりつけ医と総合病院に求める役割（機能）が異なるため、どの部分を機能強化していくかが重要である。

発達障害の診療可能医療機関（機関数）

	診断	うち、心理検査 実施機関数
未就学児	13	8
就学児	13	8
成人	17	13

出典：令和 6 年度発達障害を診療等可能な医療機関調査（静岡県実施）より

3. 発達が気になるこどもの受診待機解消事業

- ・ 心理検査のみではなく、保護者への聞き取りや関係機関との調整などを含めた心理的アセスメント業務を行う事業を社会福祉法人等に委託。
 - ・ 発達が気になるこどもの診療について、紹介を受け対応することが多い市内総合病院に協力をいただく形で実施。
- 【協力病院】市立静岡病院、市立清水病院、済生会総合病院小児科、済生会総合病院療育小児科

1. 事業実施準備期間の医療機関への事前ヒアリング結果

（1）学校に関することについて

- ・通常診療で依頼のある心理検査のうち、就学支援委員会での就学検討および進学先の検討のための判断材料や、本人の状態像を知りたいと考える学校の希望による予約が多いのではないかと推測される。
- ・日々の学習場面や現在の環境での本人の取り組みの観察から得られる情報も多く、心理検査が必ずしも必要ではないケースも一定数存在する。

（例）“学校から今後のことを考えて心理検査を希望された”とのことで受診するケースがあり、保護者の話だけでは医療機関側としては、心理検査や受診の必要性がわからないことがある。学校が考えている必要性が共有できることでよりよい支援ができるのではないかと考える。

⇒当事業において、学校との情報共有・連携を進める。

（2）待機期間について

- ・心理検査の待機期間が長い
（例）7月2日に心理検査を予約した患者の検査予定日が翌年2月（約8カ月待ち）であった。
- ・親子の悩みの聴取や経過観察が必要な発達診療においては、新規患者の枠が少なくなりがちである。
（Drによるカウンセリング 済生会小児科：195件／済生会療育小児科：410件）

⇒事業始動による解消を目指す。

- ・現在、常勤2名で対応。8月の予約が埋まってきている。
（利用時に曜日や時間帯の指定がある場合、空き状況によっては1ヶ月ほどお待ちいただく可能性がある程度に、予約が埋まっている。）

（3）心理検査の所見について

- ・医療機関同士の連携で送付された心理検査所見について、医師から「治療方針を検討する際に、読みにくさを感じる」との発言あり。
- ・受け取った保護者や支援者からも、「どこが要点かよくわからず、支援に活かしにくい」との意見があった。
- ・現状、心理検査所見には既定の記載ルールがなく、各機関で記載内容が異なる。

⇒本事業では、基本情報として「検査数値、検査時の行動面の記述、検査結果から分かる支援方針」を作成、複数の心理検査を実施した場合、それらの検査結果の主要数値と特徴、全体的な支援方針をまとめた「総合所見」を作成していく。

令和7年度「発達の気になるこどもの受診待機解消事業」 7月実施状況

業務内容	総数
延実施件数	56
1－1．発達支援	44
1－2．関係者会議	9
2．他施設への普及啓発、研修や相談など	3

1－1．発達支援

実支援人数	20
延支援回数	44

実支援人数の内訳

(1)年齢層

0-3	7
4-6	5
7-12	4
13-15	3
16-	1

(2)紹介元機関

市立静岡病院	6
市立清水病院	2
済生会総合病院	3
療育センター令和	7
その他	2

(3)診断名(疑い、重複含む)

ID（知的発達症）	0
ASD（自閉スペクトラム症）	13
ADHD（注意欠如・多動症）	5
SLD（限局性学習症）	0
その他	4
不明	4

延支援回数の内訳

(4)相談方法

来所	42
電話相談	2
その他	0

(5)実施内容

初回面談	17
心理検査	17
面談	8
電話相談	2
関係施設訪問	0

*現在、2ケースにおいて
こども園への訪問調整中

1－2．関係者会議(ケース関連)

延実施件数	9
1．各病院内担当者	7
2．外部機関担当者	1
3．支援会議（保護者、Dr、学校担当者）	1

3．他施設への普及啓発、研修や相談など

【電話相談】

・市内こども園（2件）

【研修実施】

・ひまわりこどもクリニック

*8月頃予定：静岡市発達障害者支援センター